

# 東京都

<http://schit.net/tama/estoyogaoka>

2050年の大人づくり 実行する子を豊ヶ丘から

# 多摩市立 豊ヶ丘小学校

## 「100年先までのこしたい わたしたちの学校林」

### ユネスコスクール (since 2010)



United Nations  
Educational, Scientific and

Member of



UNESCO  
Associated

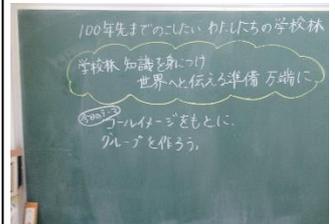


多摩市は、ジブリの「耳をすませば」や「平成狸合戦ぽんぽこ」の舞台になった緑豊かな市です。豊ヶ丘小学校は各学年2学級、児童数は310名です。特色ある教育活動として学校林・地域・食育を3つの柱としてESD（持続発展教育）に取り組んでおり、ユネスコスクールに登録しています。平成30年度東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校でもあります。くわしくは学校ホームページをご覧ください。

豊ヶ丘小の学校林は、学校の敷地の中にあります。校庭のすぐ隣なので、子どもたちがいつでも入れる遊びの場・学びの場です。休み時間も、もちろん入れます。東京では珍しいほど広く、面積は約7100㎡あります。多摩ニュータウンの開発時に手付かずのままに残された貴重な里山です。多様な動植物が見られ、生活科や総合的な学習の時間をはじめ、いろいろな授業で全学年が活用しています。



毎回ゴールイメージをもって活動



対話を大切に活動



学校林の中で児童の主体的な活動が充実するための鍵となるのが、教室での取組です。これらの学習を通して、確実に「考え、実行する力」が伸びています。課題の発見と解決に向けて主体的・対話的・協動的に学ぶ授業、仲間の考えをまとめてより深い理解や新しい学びの価値を創造する授業となっているので、学校林に入っていく子どもたちには力強い目的意識があり、真剣に活動します。

絶滅危惧種 タマノカンアオイ



1年生を案内



学校林の新しい道具



地元メディアの取材

絵本の読み聞かせ



センサーカメラを設置しての生き物調査



整備作業



アナグマ出現

学芸員さんを招いて



秘密基地を作ってピバーク



シイタケ栽培



のこぎり体験